

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月

結果公表日:2025年3月27日

回答率

事業所職員: 3名回答、回答率 100%

保護者様: 34名回答、回答率 87%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・一体化に伴い、訓練室の空きのある時間があるため、児童をグループ分けしより丁寧に取り組めるようになった。
- ・療育室内の物置を整理し、療育に使うことのできるスペースを広げた。

○業務改善

- ・保護者やお子様から受けた要望や意見を教室内で共有し、業務改善に繋げる事が出来る様に努めている。
- ・「月初準備」「月末処理」「中旬に行う業務」など業務内容を洗い出し、役割分担を決め、振り返りを行うことで、日々業務改善に努めている。

○適切な支援の提供

- ・社内研修を受講することで支援力向上に繋がっている。
- ・支援計画をこまめに確認したり、1人1人のお子様について指導員同士で密に情報交換することを心掛けている。

○関係機関や保護者との連携

- ・相談支援事業所の方と定期的にモニタリングを行い、お子様の日々の様子について情報交換を行っている。
- ・保護者様から要望があった際には、事業所内で相談に乗ったり、学校と連携してお子様について情報交換を行っている。

○保護者への説明責任等

- ・電話やメールなど保護者様が連絡しやすい方法で説明を行っている。
- ・長期休みなど教室運営日について教室入り口に掲示をしたり、事前に手紙を配布してお知らせしている。
- ・家族支援の希望書を待合室に配置するようにした。

○非常時等の対応

- ・月1回避難訓練を実施し、避難方法、避難の際の注意点、避難経路などの確認を行っている。
- ・感染症の対策委員会の実践研修を通して、嘔吐発生時の対応法について随時確認している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・訓練室のスペースは適切であるの項目について、大多数の方に「はい」と回答頂いたが、「訓練室が活動内容によっては狭いのではないか」という意見も頂いたため、訓練室内の配置等の見直しを行う。

・今年度より、児童発達支援の訓練室も活用することで、児童をグループ分けし、課題に取り組めるようになったことで、より広いスペースを確保できている。

・「全体課題の際に机を使用しているが、生徒と机の数が違うので、どこに居たらいいのか分かりづらいように思う。自分の居場所(座るべき所)が明確になっていない為ウロウロしている姿を見受ける。」というご意見をいただいた。今後は、座卓の数を増やす・児童の席がわかるようなマークを付けるなどの工夫を行っていききたい。

○適切な支援の提供

・様々な指導員が支援に入っているの項目について、8割以上の方に「はい」と回答頂いた。今後も様々な指導員が交代で支援にあたり、幅広い支援が提供できるようにしていきたい。

○保護者への説明等

・丁寧にフィードバックを行っているため、活動内容が分かる。

今後も、家族相談支援やフィードバックの時間を活用して保護者と密接に関わっていけると良い。

○非常時等の対応

・感染対策で、手洗いやマスクの着用が対策できており、訓練室の窓を開けることで定期的な換気も行えている。

○満足度

・「放デイで個別や小集団で対応してくれるところがあまりないので、1人1人の子供をしっかりとして見ている感じがして安心して通えています。」「親には言えない悩みや思いを先生達には言えるような、そんな安心できる場所になってくれたら嬉しいです。」

等のご意見を頂いた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

・道具置き場を整理し、道具置き場の面積を狭めたり、それぞれの部屋のパーテーションを調整することで、どの部屋もそれぞれの活動に見合った活動スペースを確保できるように工夫する。

・担当指導員が固定化しないように、話し合いの際に前回の療育の引き継ぎをより綿密に行い、全員が同じように支援を行えるよう努める。

○改善できた点・まだ残る課題

・一体化に伴い、児童発達支援の療育室も使用できるようになり、児童をグループ分けすることで、ある程度の活動スペースを確保できるようになった。

・療育室内の物置内を整理し、療育に使うことのできるスペースを広げた。

・個別での引き継ぎを丁寧にを行うことで、担当指導員が固定化しないように取り組むことできた。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・それぞれのお子様の好きな物などをしっかりと把握しておくことで、より楽しく活動を実施できている。
- ・振り返り時にその日の活動について、丁寧にフィードバックすることができている。
- ・個別と集団療育の両方を行うことで、1人1人のお子様の色々な場面での支援を行うことができている。
- ・個別支援計画に沿って、丁寧に支援をすることができている。

○改善点

- ・席の配置など、教室の構造についてさらに検討し、実践していきたい。
- ・保護者会やペアレントトレーニングなど家族に対する支援があまり取り組むことができていない為、実施できるように検討していけると良い。
- ・職員の人数が少ない日があるため、できる限り1人1人のお子様を丁寧に支援できるよう内容などを検討していきたい。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・机やパーテーションの位置などを調節し、教室環境を整える。
- ・事務作業の分担や手順を工夫し、効率化を図ることで、療育の内容に関する話し合いの時間をより多く取れるようにしたい。

○1年間で取り組む具体策

- ・それぞれの部屋のパーテーションを調整することで、どの部屋もそれぞれの活動に見合った活動スペースを確保できるように工夫する。
- ・話し合いの際に前回の療育の引き継ぎをより綿密に行い、全員が同じように支援を行えるよう努める。
- ・朝礼・昼礼・終礼を行い、定期的に報告連絡を行う機会を設ける。